

平成30年5月中旬より、東名JCT周辺の野川の水面において気泡が見られております。これは、地下のトンネル工事の掘削箇所から、シールド工事で用いる空気のごく一部が地中から地上に漏出しているものです。引き続き、圧力を調整するなどして漏出抑制に努めるとともに、発生状況についてモニタリングしていきます。

トンネル工事は正常に進んでおり、地域の皆さまにご迷惑をおかけするような影響はないと考えております。引き続き安全を最優先に工事を進めてまいります。



野川の様子 (H30.6.22撮影)

平成30年6月28日 午後4時頃、東名JCTの工事ヤード内において、数分間地下水の流出が確認されました。現在、流出はおさまっております。

地下のトンネル工事は正常に進んでおりますが、現在、一時的に掘進を停止し、現場を確認しております。

なお、第三者や作業員の被害はありません。

